

総合カードカッター

# CM26<sup>PLUS</sup> 組版・面付けテンプレート集

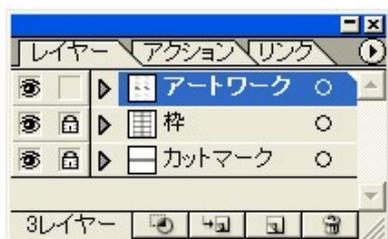
## ～使い方～

名刺をはじめ、各種カード、はがきなど CM26+でカットできる 26 種類のレイアウトが簡単に行える Illustrator 用テンプレートと、自動的に多面付けを行うアクションをご利用いただけます。各テンプレートのカットモードおよびスリッターユニットとの対応については、取扱説明書または付属の「カットモード／スリッターユニット対応表」を参照してください。

### ご利用方法

#### 1. テンプレートファイルの取り込みとレイアウト

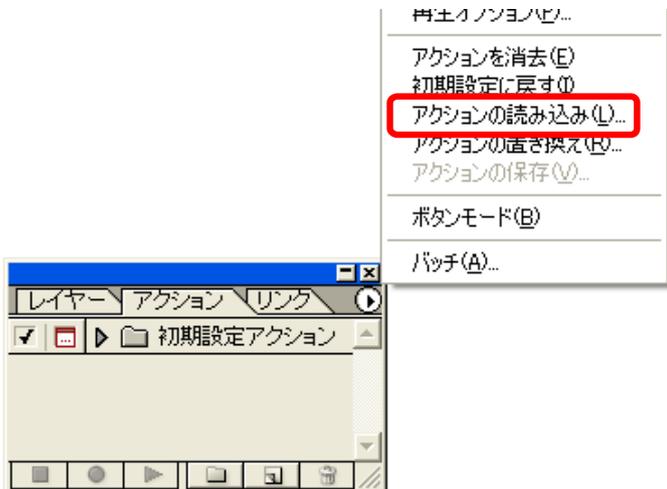
- 1.1. 面付けしたいカードのテンプレートファイルをハードディスクの任意の場所にコピーします。アクション機能をご利用になる方は「CM26+\_Action\_v2.aia」ファイルも同様にコピーします。
- 1.2. Illustrator で、コピーしたテンプレートファイルを開きます。
- 1.3. レイヤーパレットで「アートワーク」を選択します。



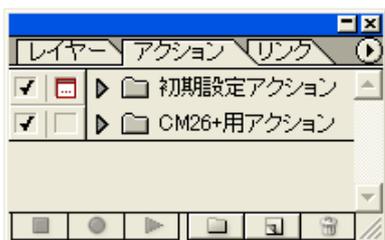
- 1.4. いちばん上（名刺など 2 列の場合は左上）のカードにレイアウトを行います。
- 1.5. レイアウトができあがったら、いったんファイルを「別名で保存」します。アクション機能をお使いになる場合は以降の手順をとばして「2. アクションの使用」へ進んでください。
- 1.6. アクション機能をお使いにならない場合は手作業で面付けを行います。レイアウト全体を選択し、メニューバーの「オブジェクト」をクリックし、「変形」 - 「移動」とたどってクリックします。
- 1.7. 「移動」ダイアログボックスの「垂直移動距離」にカードの送りの数値を「-（マイナス）」をつけて入力し、「コピー」をクリックします。
- 1.8. 以下、同様にして規定の面付けを完成させます。アクション機能をお使いにならない場合は以降の手順をとばして「3. テスト・プリントと位置調整」へ進んでください。

## 2. アクションの使用

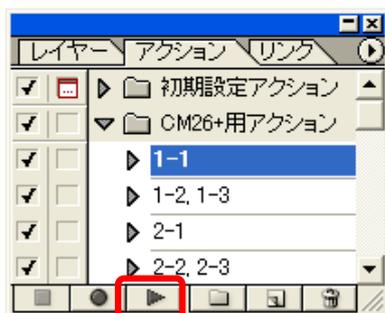
- 2.1. アクションパレットを表示します。(アクションパレットが見当たらない場合は、メニューバーの「ウィンドウ」をクリックして「アクション」を選択します。)
- 2.2. アクションパレット右上の▶をクリックしてメニューを表示します。
- 2.3. 「アクションの読み込み」を選択します。



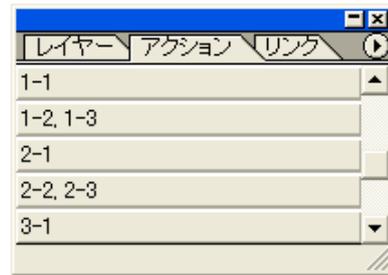
- 2.4. 「読み込みセットの選択」ダイアログボックスで、先に保存した「CM26+\_Action.aia」ファイル（正確には複数のアクションを含んだ「アクションセット」）を選択し、「開く」をクリックします。アクションパレットに「CM26+用アクション」が追加されます。



- 2.5. 「CM26+用アクション」の左の▶をクリックしてご利用のテンプレートに適合するアクションを選択します（例：日本標準名刺、10面付け、シングルカットのとき=1-1）。
- 2.6. アクションパレット下部の▶をクリックすると、選択したアクションが実行され、自動的に面付けが完成します。ファイルの保存、プリントなどの作業を行ってください。



アクションパレット右上の▶をクリックしてメニューから「ボタンモード」を選択すると右のように表示され、シングルクリックでアクションが実行されるようになります。

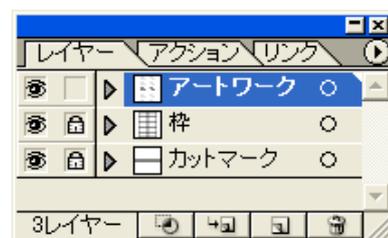


- パソコンのメモリの状態など何らかの理由でアクションが適切に実行されない場合があります。その場合にはアクション実行以前のレイアウト以外を削除して、再度実行してください。それでもうまくいかない場合は、アクションの実行速度を落としてみてください。実行速度を変更するには：
  1. アクションパレット右上の▶をクリックします。
  2. メニューから「再生オプション」を選択します。
  3. 「ステップごと」を選択します。
  4. 「OK」をクリックします。
- 「CM26+用アクション」を削除するには：
  1. アクションパレットをリスト表示にする（ボタンモードは解除する）。
  2. アクションパレットの「CM26+用アクション」を選択します。
  3. アクションパレット右下の「選択項目を削除（ゴミバケツのアイコン）」をクリックします。

### 3. テスト・プリントと位置調整

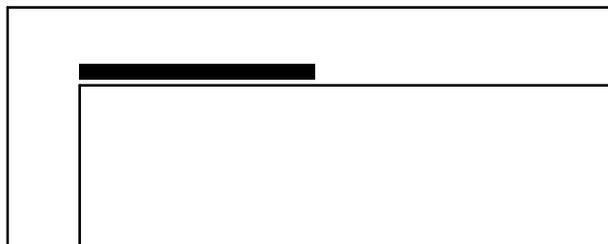
- 本プリントの前にテスト・プリントを行ってください。ご使用のプリンターによってはモニター上の面付け位置と実際のプリント位置にズレが生じる場合があります。
- CM26+ではA4判天地方向±1mm、左右方向±2mmのカット位置修正が可能です。それ以上のズレが生じる場合はパソコン上で修正してください。各レイヤーのロックを解除して、全てを選択して移動させます。

テスト・プリントが終了したら、レイヤーパレットで「枠」レイヤーの左の「目」アイコンをクリックし、非表示にして本プリントを行います。



#### 4. カットマークについて

- カットモード 1、2、3、4、5、7 では、カットマーク機能を使ってカット開始位置を決めることもできます。
- カットマークは用紙の先端付近左側に設けるタテ 2mm、ヨコ 31mmの棒状の黒いマークです。



- カットマーク機能がオンのとき、センサーがカットマークを検知すると、CM26+はカットマークの後端から 1mmの位置で先端余白カットを行います。したがって天地方向のカット位置については調整が不要となります。カットマーク機能について詳しくは取扱説明書をご覧ください。
- カットモード 1、2、3、4、5、7 に対応するテンプレートにはカットマークがあらかじめ備わっています。ただしカットモード 2 と 5 については、用紙の先端からカットマークまでの距離が短いため、プリンターによっては正しくプリントできない場合があります。この場合は、面付け後、カットマークを含んだレイアウト全体を用紙先端から遠ざけてプリントするか\*、レイヤーパレットで「カットマーク」レイヤーを非表示にしてプリントし、CM26+のカットマーク機能をオフにしてお使いください。

\*レイアウトを後方に動かしすぎると後端部がプリントされないおそれがあります。

CM26+ テンプレート、アクション対応表

カットモード	スリットユニット	テンプレート	アクション
1	A	CM26_mode_11_Scut	1-1
1	B	CM26_mode_12_Scut	1-2,1-3
1	C	CM26_mode_13_Scut	1-2,1-3
2	A	CM26_mode_21_Wcut	2-1
2	B	CM26_mode_22_Wcut	2-2,2-3
2	C	CM26_mode_23_Wcut_v2	2-2,2-3
3	A	CM26_mode_31_Wcut_v2	3-1
3	B	CM26_mode_32_Wcut_v2	3-2,3-3
3	C	CM26_mode_33_Wcut_v2	3-2,3-3
4	D	CM26_mode_41_Wcut	4-1
4	E	CM26_mode_42_Wcut	4-2,4-3
4	F	CM26_mode_43_Wcut	4-2,4-3
5	G	CM26_mode_51_Wcut	5-1
5	H	CM26_mode_52_Wcut	5-2,5-3
5	I	CM26_mode_53_Wcut	5-2,5-3
6	J	CM26_mode_61_hagaki100	6-1
6	K	CM26_mode_62_Ofukuhagaki	6-2
6	L	CM26_mode_63_Hagaki105	6-3
7	M	CM26_mode_71_Shashin_2L_v2	7-1
7	D	CM26_mode_72_Shashin_L_v2	7-2
8	N	CM26_mode_81_A4_3p	8-1,8-2
8	O	CM26_mode_82_A4_3p_p	8-1,8-2
8	L	CM26_mode_83_A4_6p	8-3
9	N	CM26_mode_91_A4_4p	9-1,9-2
9	O	CM26_mode_92_A4_4p_p	9-1,9-2
9	L	CM26_mode_93_A4_8p	9-3

■ご利用上の注意■

- CM26+用テンプレートおよびアクションのご利用には、Adobe Illustrator 8.0以上が必要です。
  - CM26+用テンプレートおよびアクションは、弊社製品をご利用いただくために提供しています。それ以外の用途への転用は禁止いたします。
  - CM26+用テンプレートおよびアクションを使用したことによって生ずるいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。お客さまご自身の責任においてご利用ください。
  - CM26+用テンプレートおよびアクションの複製、配布は禁止いたします。
- Adobe、Adobe Illustrator は米国アドビシステムズ社の登録商標です。

以上

インターテクノ株式会社

2009/08 v2